



ひろしま農振

NEWS

第8号

H9 3/1

【財団法人 広島市農業振興センター

〒739-17 広島市安佐北区深川八丁目30番12号
TEL (082) 845-4770
FAX (082) 842-2149

おいでよシャクナゲの里へ

第14回全国都市緑化ひろしまフェア

グリーンフェスタひろしま'97イベント開催!

花みどり公園

期間：平成9年4月29日(火)～5月31日(土)

休園日

4/30(水)、
5/6(火)、5/13(火)、
5/20(火)、5/27(火)

第14回全国都市緑化ひろしまフェアは、緑豊かな街づくりを目的に開催する花と緑の祭典です。花みどり公園では、このフェアに全市的な広がりをもたせるとともに、市民レベルで緑化意識の高揚を図るためフェアの実施に先立ち、世界のシャクナゲ展、花木展、緑化スタンプラリーなどのイベントを開催します。



花木展(4/29～5/31)



世界のシャクナゲ展(4/29～5/31)



花木園芸教室(5/11(日) 13:30～)
ハーブ講習会(5/18(日)・5/25(日) : 13:30～)



「めーでるちゃん」とのゲーム・クイズ遊び
(4/29(みどりの日)・5/5(子供の日)
: 11:00、14:00)



オープニングイベント(風船飛ばし)(4/29)



スタンプラリー
(4/29～5/31の土・日・祝日)

ワクワク
するネ



シャクナゲ苗の無料配布
(4/29(みどりの日) : 9:00～
駐車場入口 先着500名)

“ひろしまそだち”マーク好評



当センターでは、生産者には高付加価値型農業の展開を、消費者には信頼のおける農畜水産物の提供を図ることを目的に、生産者・JA・流通・消費者等と一体となって“ひろしまそだち”特産化事業に取り組んでいるところです。

本事業では、平成7年度から「地場産品にできるだけ多く“ひろしまそだち”マークを表示すること」を推進してきました。これまでJA、生産者の方々に野菜・米・花き及び鶏卵へのマーク表示を積極的に導入していただいた結果、平成8年度には市場や販売店でマークの入った産品が目立ってきました。このマーク表示に対して、販売店・消費者から、「今まで地場産品が分かりにくかったが、良く分かるようになりました。地場産品は新鮮で品質がいいので、もっと量を増やして欲しいですね。」と期待の声が高まっています。



市内産米では初めてマークの入ったJA広島市のひのひかり

須沢地区のまちづくり活動



安佐北区白木町の須沢地区（弓投・東須沢・西須沢・吉永の4集落77戸）では、平成2年に組織された須沢地区ほ場整備推進会議中田幸雄会長（写真）が、「ふるさとに活力を！農業に創造を！」をキャッチフレーズにまちづくりに頑張られています。

中田会長さんは、「地域一丸となり“みんなで協力し、考え、話し合う”ことを基本としたまちづくりを進めていきたい。そのためには、まず、ほ場整備を進めることにより、無秩序な土地利用を防ぐとともに農地が荒れていくのを防ぎ、作業効率の良い優良農地をつくり、農業の生産性の向上を図りたい。また、農業集落排水処理施設の整備等生活環境の整備にも取り組み、より豊かなまちづくりを推進していきたい。」と話しておられました。

集落排水処理施設が完成 —安佐北区白木町中三田地区—

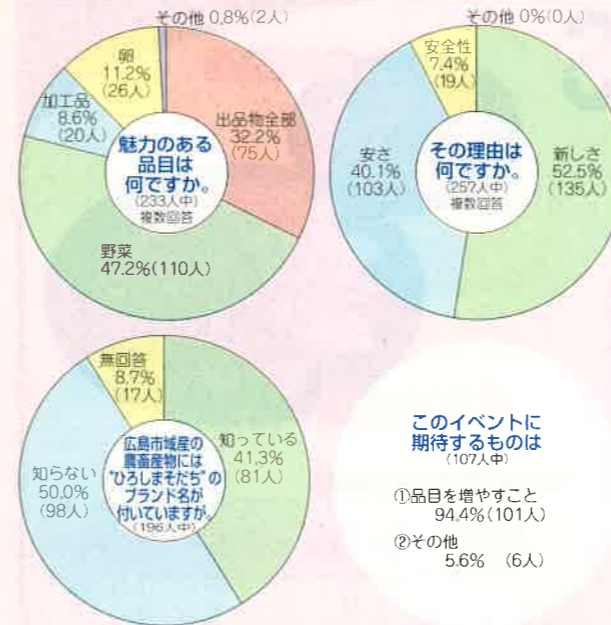
「私たちの中三田地区では、このたび農業集落排水処理施設が完成し、使用開始できることとなり、地域住民一同心から喜んでいるところです。

この事業に着手した平成4年から今日まで、集落ごとの事業説明会の開催と参加同意のとりまとめ、実行委員会の組織づくり、処理場用地の選定と地主さんへの用地提供のお願い、交通規制を伴う工事の地元調整、管理組合の設立など、この施設の完成は関係機関の御協力のもとより様々な課題に地域住民が一体となって取り組んできた大きな成果であると思っております。

この事業の完成によって、中三田地区のより快適な生活環境と生産性の高い農業の実現が図られるものと大きな期待を寄せています。また、この事業をきっかけに、より豊かで住みよい中三田地区の地域づくりを目指して、話し合い活動を進めていきたいと考えております。

この事業の推進に関しまして、御支援御協力いただきました関係各位に感謝を申し上げます。」

＝中三田地区農業集落排水処理施設管理組合 組合長 佐々木公雄さん（写真）からの寄稿＝



消費者の声を生かした“ひろしまそだち”の産地づくり

毎月月末の日曜日に、生産者と消費者の交流や地場産の農産物などの販路拡大のため、国道54号線一斉ふるさと産品市「ルート54フェスタ」が開催されています。広島会場のセセラ（安佐南区八木）で第1回開催日（平成8年8月25日）に来場者を対象に実施したアンケートの結果をピックアップしてみました。

このことから、消費者が「新しさ」を第一に求め、次に「安さ」と「安全性」を求めていることがわかります。また、消費者のニーズに応えるため、いつでもどこでも買えるだけの流通量確保し、品目も増やしていくことがこれからの課題であるといえます。



スーパーカウ6頭が勢ぞろい



左：ベティー 右：ジェロー（平成8年度導入）



左：アンナ 右：ソフィア（平成7年度導入）

広島市は、平成6年度から3ヶ年計画で、全米トップクラスのスーパーカウ6頭の導入を始めましたが、昨年11月29日に最後の2頭が仲間入りし、計画した全6頭が勢ぞろいしました。

すでに導入した4頭の受精卵採取も順調に進んでいますが、全頭そろったことで乳牛の改良にも拍車がかかるものと期待されています。

平成8年2月18日にはスーパーカウ二世第一号が誕生していますが、今後は平成20年までに市内の乳牛400頭をすべてスーパーカウに改良する計画です。

乳価引き下げや輸入自由化という過酷な状況下にある酪農家にとって、スーパーカウたちは心強い「救世主」となることでしょう。



左：テリー 右：キャンディ（平成6年度導入）

農地保有合理化法人資格の取得



“ひろしま活力農業”経営者育成事業のイメージ図

当センターでは、将来の農業を担う若い農業経営者を育成するため、このたび「農地保有合理化法人」の資格を取得しました。

この法人資格を活用し、野菜・花き等の栽培に適したまとまった農地を当センターが借り入れ、これを若い農業経営者に貸し付ける農地保有合理化事業を推進するとともに、こうした農地を活用し、栽培技術や経営技術の実地研修などを行うこととしています。

農業・農村の活性化は、中核となるエネルギーな若い農業経営者の育成が重要な課題であり、ほ場整備完了地区や計画地区等における農地の有効活用と後継者の育成について、地域農業集団の推進活動をご支援いたします。

トピックス



放射線による新しいダリア

放射線（ガンマー線）を照射したダリアを9～11月にかけて調査した結果、有望と思われる株が1つ見つかりました。その株は照射前と比較して花色が濃いピンクから消費者好みの薄いピンクに、花は従来のものに比べ花弁数が増加し、より豪華になりました。これからハウスで栽培し開花特性や品質の能力検定を行います。来年度も引き続きダリアに放射線を照射して、新品种の開発を目指します。



高カロチンニンジン

園芸課ではニンジンの代表的な栄養であるカロチン含量を調べました。カロチンは黄赤色の色素でビタミンAと同じ働きをします。6種類のカロチン含量の多いと言われている品種と従来から栽培されている向陽2号を比較しました。その結果8月どりではベータリッチ、あすべに五寸、カロチンキャロットが向陽2号に比べて約2倍のカロチンを含んでいました。しかし、10月どりでは、向陽2号が最も多く、ベータリッチと千浜五寸は向陽2号の約9割で、その他の品種は8割以下となりました。

ニンジンのカロチン含量

mg/100g、()は向陽2号を100とした場合の指数

区分	カロチン含量が多いと言われている品種							
	従来から栽培されている品種	向陽2号	ベニカロチン	カロチンキャロット	ベータリッチ	ベニコシ五寸	千浜五寸	あすべに五寸
8月どり		7.91 (100)	5.94 (75)	14.35 (181)	14.64 (185)	7.71 (97)	10.26 (130)	14.48 (183)
10月どり		10.50 (100)	5.76 (55)	8.02 (76)	9.51 (91)	8.47 (81)	9.53 (91)	8.05 (77)



ひろしまそだち 料理講習会開催

～生産者と消費者が交流～

昨年7月、市内の畜産農家や野菜・米などの生産者と消費者による“ひろしまそだち”料理講習会がJA広島市中筋支店で行われました。市内産の牛乳・和牛肉・野菜・米等をふんだんに使って、生産者と消費者が共同で料理を作っていくうちに、生産者の苦労話やそれに共感する消費者との会話なども聞かれ、会場はうちとけたムードになっていきました。



牛の受精卵雌雄判別機器の導入

このたび、当センターにスーパーカウによる乳牛の改良を効率的に進めるため「雌雄判別機器」が導入されました。（スーパーカウの）受精卵の細胞の一部を取り出し、この機器を使って遺伝子を調べることにより、オスがメスを判定するのです。こうして判別されたメスの受精卵だけを移植すれば改良も2倍にスピードアップできるというわけです。



米のおいしさを測定します

当センターでは、米のおいしさを点数で表示する食味計を導入しました。最近の米づくりでは、お米の食味を高めることが重要になっています。8年度産米から測定を始めましたので、ぜひご利用ください。なお、測定は玄米で行い、500g必要です（無料）。

